

# 第161期 決算のご報告

2022年4月1日

▶ 2023年3月31日

## CONTENTS

ADEKA グループ経営理念

事業紹介

株主の皆様へ

報告セグメント別概況

トピックス

サステナビリティの取り組み

財務・非財務ハイライト

会社情報

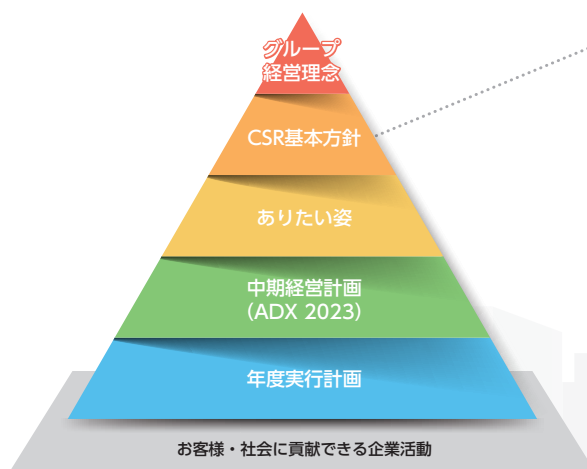
ネットワーク・CMのご案内

**ADEKA**  
Add Goodness

証券コード 4401

# ADEKAグループ経営理念

新しい潮流の変化に鋭敏であり続ける  
アグレッシブな先進企業を目指す  
世界とともに生きる



## ADEKAグループCSR基本方針

ADEKAグループは、公正・透明な企業活動を通じて、「技術」と「信頼」でステークホルダーの期待に応え、持続可能な社会に貢献します。

ADEKAグループCSR基本方針は、持続可能な社会への貢献という観点から当社グループが経営とCSRを統合し、社会・ステークホルダーの期待に応え、企業価値向上を目指す基本姿勢を表現したものです。この基本方針のもと社員一人ひとりがCSRを実践し、サプライチェーン全体で企業の社会的責任を果たすとともに、様々な社会的課題に対し“素材”メーカーとして価値を提供します。さらには変化し続けるステークホルダーの期待に応え、本業を通じて持続可能な社会に貢献することで企業価値を高めていきます。

## ありたい姿

# ADEKA VISION 2030

持続可能な社会と豊かなくらしに貢献する *Innovative Company*

## 中期経営計画

# ADX 2023

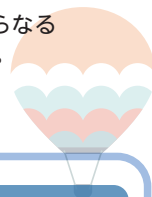
### ■ 基本方針

新しい社会環境に対応する経営基盤へ変革し、利益を重視した持続的な成長を目指す

### ■ 基本戦略

- 収益構造の変革
- 新規事業領域の拡大による持続的な成長
- グループ経営基盤の強化

すべてのものは、今より良くできる。  
 暮らしに、さらなる豊かさや便利さ、安心をもたらすために。素材に、さらなる  
 機能性や耐久性、環境性能をプラスする。私たちは、素材の価値を高める。  
 そして、素材を「素材」に変える。私たちは、アデカです。



## 事業紹介

### 化学品事業

#### ■ 樹脂添加剤

プラスチックの高機能化・長寿命化・  
資源循環に欠かせない各種添加剤  
を提供しています。

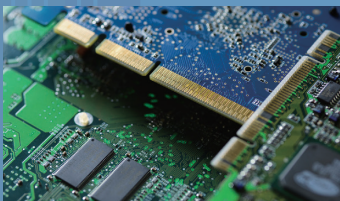


製品

ポリオレフィン向け添加剤、  
塩ビ用安定剤・可塑剤、難燃剤  
ほか

#### ■ 情報・電子化学品

ICT社会に欠かせない先端技術を  
駆使した製品を提供しています。



製品

高純度半導体材料、光硬化樹脂、  
電子回路基板エッチング装置  
及び薬剤ほか

#### ■ 機能化学品

インフラから化粧品、トイレタリー  
など様々な分野に高付加価値製品  
を提供しています。



製品

エポキシ樹脂、ポリウレタン  
原料、水系樹脂、界面活性剤、  
潤滑油添加剤ほか

### 食品事業

加工油脂や加工食品などを提供し、  
安心・安全で豊かな食生活の実現  
に貢献しています。



製品

マーガリン、ショートニング、チョコ  
レート用油脂、フライ・調理用  
油脂、プラントベースフードほか

### ライフサイエンス事業

農薬をはじめ、医薬や動物薬など  
を提供しています。また、再生医療、  
予防医療、生活の質向上をキー  
ワードに研究開発を進めています。



製品

農薬、医薬品、医薬部外品、  
動物用医薬品、木材用薬品、  
医療材料ほか

### その他の事業

工場施設や設備プラントの設計、  
設備メンテナンス、物流業務、保  
険代理業務を中心に事業を進めて  
います。



サービス

プラントの設計、工事管理、  
不動産業、物流業、倉庫業  
ほか

## 新しい社会環境に対応する経営基盤を構築し 中期経営計画「ADX2023」の目標達成を目指してまいります

### ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの第161期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の事業概況についてご報告申し上げます。

当期における世界経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和に伴い、社会経済活動の正常化が進んだものの、ウクライナ情勢をはじめとする地政学リスクの高まりに加え、原燃料価格高騰や世界的なインフレ進行等を受け、緩慢な景気回復に留まりました。

### 先端半導体向けの投資を積極的に実行 「デリプランツ」シリーズの新たな市場開拓を実施

このような状況のなか、中期経営計画「ADX 2023」の2年目となる2022年度は、社会価値と経済価値の追求による企業価値向上に向けて、引き続き「収益構造の変革」「新規事業領域の拡大による持続的な成長」「グループ経営基盤の強化」の3つの基本戦略のもと施策を推し進めました。

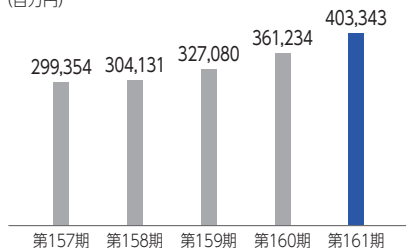
樹脂添加剤では、UAEでワンパック顆粒添加剤の設備を増強し、2022年12月から営業運転を開始しました。情報・電子化学品では、先端半導体メモリ向け高誘電材料「アデカオルセラ」シリーズの新製品について、韓国での一貫生産を本格的に開始しました。また、2022年7月に同シリーズの韓国での増産投資、2023年2月に研究開発機能の大幅な拡充を図るため、「アデカコリア研究開発センター」の移転をそれぞれ決定しました。食品事業では、2022年4月からプラントベースフードの新ブランド「デリプランツ」シリーズの販売を開始し、2023年3月には伊勢丹新宿店で「デリプランツ」シリーズを使用した限定メニューに採用される等、新たな領域での市場開拓とお客様への提案を進めました。ライフサイエンス事業では、インドで水稲用殺虫剤ベンズピリモキサンの本格販売を開始し、製造設備の増強も進めています。

CSRの取り組みでは、カーボンニュートラルの実現とSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた新たな組織体制の構築・強化、D&I（ダイバーシティ&インクルージョン）の実現を

### 財務ハイライト ※第160期は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載しています。

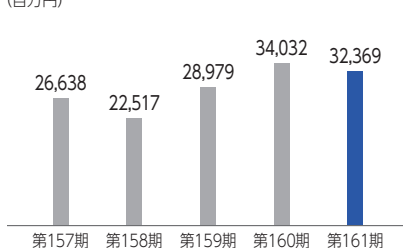
#### 売上高

(百万円)



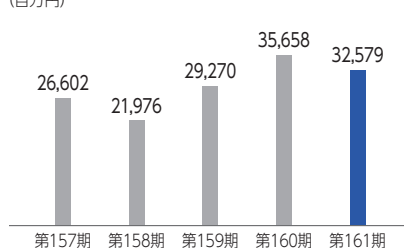
#### 営業利益

(百万円)



#### 経常利益

(百万円)



目指した女性活躍の推進、健康経営の推進に取り組みました。  
社名認知度向上に向けた取り組みでは、年末年始にテレビCMを放映しました。

## 売上高は過去最高を更新 次期年間配当金は1株につき80円を予定

当期の業績につきましては、売上高は4,033億43百万円(前期比11.7%増)で過去最高を更新しましたが、営業利益は323億69百万円(同4.9%減)、経常利益は325億79百万円(同8.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は特別損失として食品事業に係る減損損失を計上したことなどから167億78百万円(同29.2%減)となりました。

当期の期末配当金につきましては、当期の連結業績、財務状況等を総合的に勘案し、当初予想どおり、1株につき35円とさせていただきます。年間配当金につきましては、既に実施した中間配当金35円と合わせて1株につき70円(前期70円)となります。

次期の配当金につきましては、1株につき年間80円を予定しています。

## 強固な経営基盤の構築へ

中期経営計画『ADX 2023』の始動以来、新型コロナウイルス感染症拡大やウクライナ情勢をはじめとする地政学リス

ク、世界的なインフレ等により世界の潮流が大きく変化してきました。厳しい事業環境ではございますが、当社グループは新しい社会環境に対応する経営基盤へ変革し、持続的な成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

2023年6月

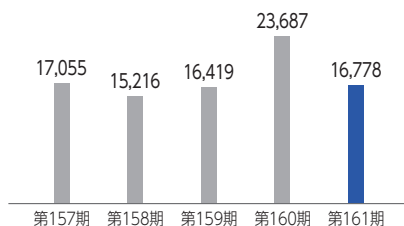
株式会社ADEKA  
代表取締役社長  
兼社長執行役員

城 詰 秀 尊



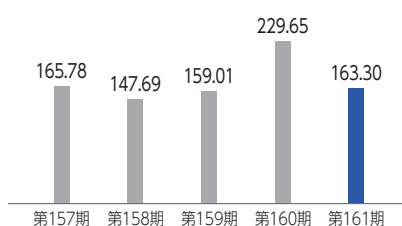
### ■ 親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



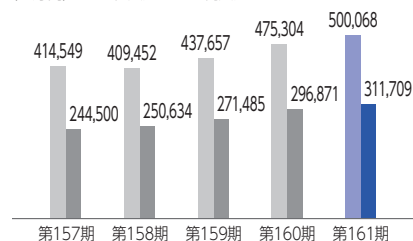
### ■ 1株当たり当期純利益

(円)

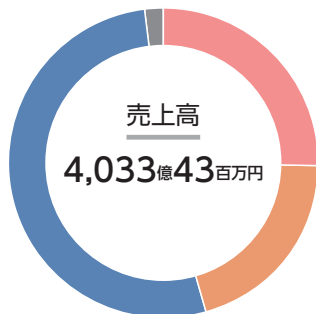


### ■ 総資産／純資産

(百万円) ■ 総資産 ■ 純資産



# 報告セグメント別概況



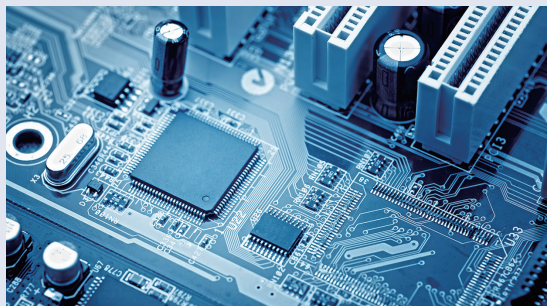
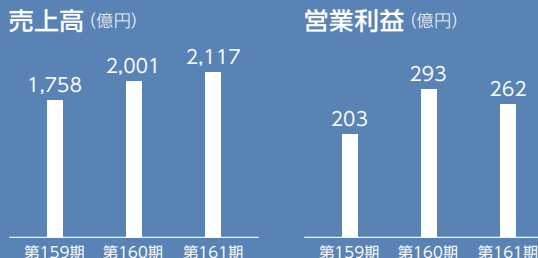
## 第161期報告セグメント別売上高構成比

化学品事業	52.5%
食品事業	20.5%
ライフサイエンス事業	25.3%
その他の事業	1.7%

## 化学品事業

売上高 2,117億20百万円 (前期比5.8%増)

営業利益 262億60百万円 (前期比10.5%減)



### 樹脂添加剤

自動車向けでは、国内で核剤等が、また中国を含むアジア圏においてはゴム用可塑剤等の販売数量が減少しました。建材向けでは、塩ビ用安定剤の販売が低調でした。食品包装向けでは、北米を中心に透明化剤の販売が好調に推移しました。

ポリオレフィン樹脂に使用されるワンパック顆粒添加剤や酸化防止剤は、欧州等での需要低迷により販売数量が減少しました。難燃剤は、筐体等に使用されるエンジニアリングプラスチック向けの販売が低調でした。一方、ポリオレフィン樹脂向けは大型家電向けを中心に販売が堅調に推移しました。

### 情報・電子化学品

半導体向けでは、一部製品群で販売が減少しました。一方、最先端のDRAMに使用される高誘電材料及びEUVやArF等の最先端のフォトレジストに使用される光酸発生剤の販売が好調に推移しました。また、NAND向け製品の販売も堅調でした。

ディスプレイ向けでは、光学フィルム向け硬化樹脂、カラーフィルター向け光重合開始剤、ブラックマトリクスレジスト及びエッチング薬液の販売が低調に推移しました。

### 機能化学品

自動車向けでは、エンジンオイル用潤滑油添加剤の販売が好調に推移しました。また、海外を中心に構造接着用特殊エポキシ樹脂の販売も好調でした。

建築塗料向けでは、反応性乳化剤の販売がアジア地域を中心に堅調に推移しました。また、化粧品向け特殊界面活性剤は販売が堅調でした。

一方、工業用途で使用されるプロピレングリコール類は低調に推移しました。また、過酸化製品はディスプレイ向けを中心に低調でした。

## 食品事業

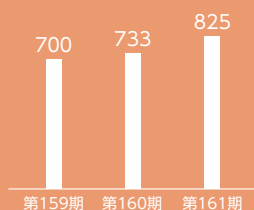
売上高

825億25百万円 (前期比12.5%増)

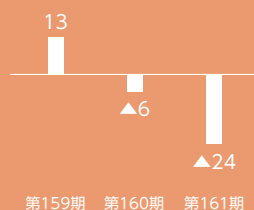
営業損益

▲24億3百万円 (前期は6億86百万円の営業損失)

売上高 (億円)



営業損益 (億円)



製パン、製菓用のマーガリン、ショートニング類は販売が減少しましたが、機能性マーガリン「マーベラス」シリーズは、パン等のおいしさの持続と消費期限延長に寄与する機能が評価され、採用が拡大しました。また、土産菓子に使用されるフィリング類の販売が好調に推移しました。

一方、洋菓子・デザート用のホイップクリーム類は販売が低調でした。新製品のプラントベースフード「デリプランツ」シリーズは、おいしさと使いやすさが評価され採用内定件数が増加しました。



## ライフサイエンス事業

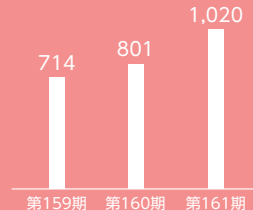
売上高

1,020億82百万円 (前期比27.4%増)

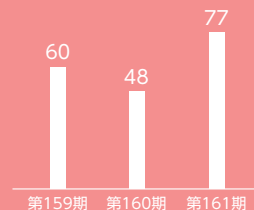
営業利益

77億93百万円 (前期比62.3%増)

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



※第160期は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載しています。

農業は、国内では、2021年10月から開始したコルテバ社製品の販売が通年にわたり寄与したこと等から、販売は前期を上回りました。海外では、ブラジルの農業需要が拡大基調にあるなか、同国での販売が好調に推移しました。また、欧州で主にばれいしょ向けで除草剤の販売が好調でした。

医薬品は、一部案件において前倒し受注があったことから、外用抗真菌剤「ルリコナゾール」の販売が堅調に推移しました。





## トピックス

# サステナビリティの取り組み

## 気候変動対応

ADEKAグループは2022年2月に、気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) への賛同を表明しました。世界的に脱炭素社会実現への取り組みが加速するなかで、当社グループは特に環境面において、CSR優先課題として掲げる「地球環境の保全 (GHG排出量削減等)」「環境貢献製品の提供」を積極的に推し進め、サプライチェーンでの環境負荷低減に貢献してまいります。

### ガバナンス

事業活動における気候変動関連のリスクと機会を適切に評価・管理し経営を推進していくために、代表取締役社長が委員長を務める「CSR委員会」を開催し (2022年度は5回開催)、気候変動関連課題の方針決定、施策の審議とモニタリングを行っています。気候変動関連課題への対応方針やTCFDに基づく情報開示案を含むCSR委員会の重要な決定事項に関しては、取締役会に報告しており、取締役会の監督が適切に行われる体制を整えています。

### リスク管理

重要リスクと機会の評価は、CSR委員会で審議のうえ決定し、取締役会に報告しています。また、気候変動問題はCSR優先課題に含まれるものとして、その取り組みの進捗を定期的にCSR委員会の直下組織であるCSR推進部会で議論し、CSR委員会に報告して審議・承認を行っています。

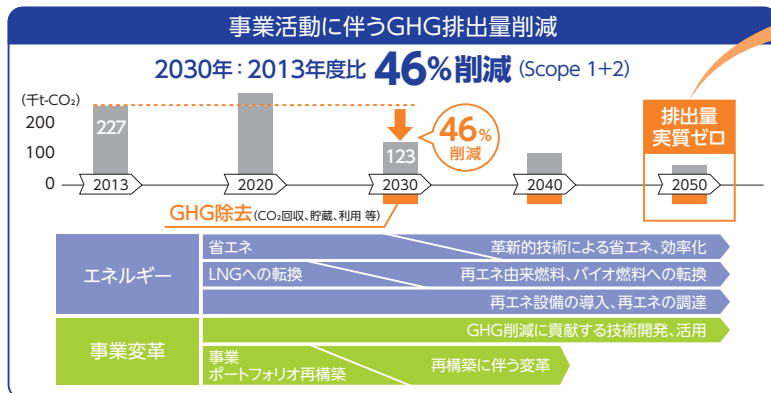
### 指標と目標

2022年3月、ADEKAグループとして「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けた取り組みとして、①「2030年：GHG排出量2013年度比46%削減 (Scope1+2)」、②「技術・製品の創出によるGHG削減貢献」を二本柱として推し進める旨を示したロードマップを公表し、GHG排出量の削減を進めています。

### 戦略

TCFD提言に沿って、移行面での影響が顕在化する「1.5℃/2℃未満シナリオ」と、物理面での影響が顕在化する「4℃シナリオ」を設定しました。対象とする事業を選定し、原料調達から製品需要のバリューチェーン全体を考慮して、気候変動リスク・機会を抽出し、事業へのインパクトや対応策の検討を行っています。

## ADEKAグループ カーボンニュートラル・ロードマップ



2050年  
カーボン  
ニュートラル  
を目指します

### 技術・製品の創出によるGHG削減貢献

#### 【取り組み】

- サプライチェーン全体におけるGHG排出量の精査
- 持続可能な製品の開発、提供
- 持続可能な原料調達の推進
- 物流最適化、環境に配慮した物流の推進 など

2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、温室効果ガス (GHG) 削減、環境負荷低減などの取り組みを加速させていくことを目的に、2022年4月1日付で、経営企画部内に「カーボンニュートラル戦略企画室」を設置しました。





詳しくは、IRライブラリ、CSRページをご覧ください。

IRライブラリ <https://www.adeka.co.jp/ir/library/>



CSRページ <https://www.adeka.co.jp/csr/>



## 人的資本（ダイバーシティの推進）

### ダイバーシティの推進

求人・雇用・昇進などあらゆる局面で、国籍・年齢・性別・人種・障がいの有無を問わず、一人ひとりが個性を活かして活躍できるフィールドを整えています。

#### 定年退職者の雇用

当社は特別な理由がある場合を除き、定年退職者のうち希望者を65歳まで再雇用する制度を設けています。2022年度の定年退職者雇用率は93.3%でした。再雇用者は、次の世代に伝承する貴重な存在として、また今まで培った知識、経験や技術を備えたエキスパートとして活躍しています。雇用形態は、フルタイム勤務や週3日勤務など様々な働き方をサポートしています。2022年度の60歳以上の従業員は36名でした。

#### ダイバーシティ研修の実施

当社は、2022年度に動画視聴によるD&I研修を実施しました。全社員対象に「ダイバーシティ総論」と「アンコンシャスバイアス」について、1,849名が受講しダイバーシティについて理解を深めました。

#### 女性の活躍

当社は、女性の活躍を推進しています。2023年4月に入社した新卒従業員34名の内10名が女性でした。女性従業員は289名で、女性従業員比率は16.1%です。2021年4月には女性活躍を推進するタスクチームを社内へ立ち上げ、女性が活躍できる風土の醸成に向けて取り組みを開始しました。2022年6月にはダイバーシティの推進をさらに加速させるべく、「D&Iプロジェクトチーム」を組織化し、女性の活躍を主要テーマに掲げ、同チーム内で施策の企画立案・実行を進めています。

#### 障がい者の雇用

当社は、障がい者の能力発揮や自己実現に向け、就業環境の整備、職域の拡大などに取り組んでいます。2022年度の障がい者従業員は35名で、障がい者雇用率は2.11%でした。今後も、積極的な雇用を推進していきます。

## プラントベースフードブランド「デリプランツ」シリーズを展開中

ADEKAグループは、食品事業RISU BRANDにおいて、2022年度新製品としてプラントベースフードの新ブランド「デリプランツ」シリーズをラインナップに加えました。動物性原料を使用せずに、植物性成分から乳風味と動物脂のようなコクを再現するおいしさ創造技術（「ReTERA技術」と命名）を活用しています。また、原料のパーム油は、持続可能なRSPO認証パーム油を採用し、トランス脂肪酸低減で安心・安全においしさを追求することができます。当該製品シリーズは、国内市場に留まらず、海外市場への展開を計画しており、国際的な動物性原料（乳製品）の供給量不足に伴う代替需要や相互補完を期待できる素材となっております。



# 財務・非財務ハイライト

## 財務ハイライト

※第160期は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載しています。

### 営業利益率



第157期 第158期 第159期 第160期 第161期

### ROA (総資産経常利益率)



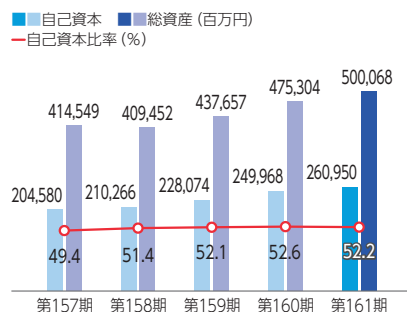
第157期 第158期 第159期 第160期 第161期

### ROE (自己資本当期純利益率)



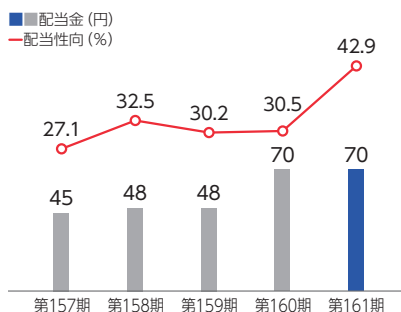
第157期 第158期 第159期 第160期 第161期

### 自己資本／総資産／自己資本比率



第157期 第158期 第159期 第160期 第161期

### 配当金／配当性向



第157期 第158期 第159期 第160期 第161期

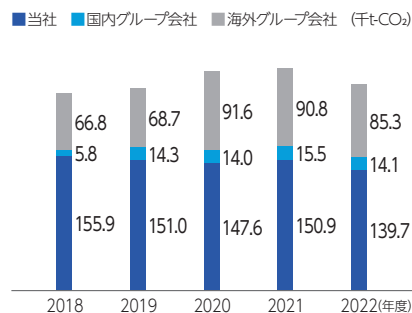
中期経営計画『ADX 2023』では、適切な還元を総合的に勘案し安定配当の維持を基本とする考え方のもと、配当性向30%以上維持を掲げています。内部留保資金につきましては、さらなる事業拡大に向けた成長領域への投資や経営基盤の強化、カーボンニュートラルを意識した環境に資する投資等に活用してまいります。

当期の期末配当金につきましては、当期の連結業績、財務状況等を総合的に勘案し、当初予想どおり、1株につき35円とさせていただきます。年間配当金につきましては、既に行方実施した中間配当金35円と合わせて1株につき70円(前期70円)となります。

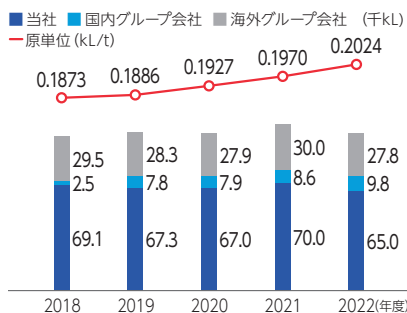
次期の配当金につきましては、1株につき年間80円を予定しています。

## 非財務ハイライト

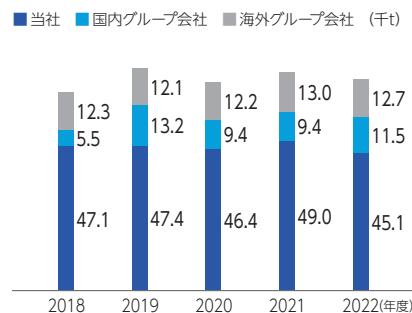
### 温室効果ガス排出量



### エネルギー使用量／原単位



### 産業廃棄物発生量



# 会社情報

## 会社の概要 (2023年3月31日)

設立 1917年1月27日  
資本金 23,048,145,172円  
従業員数 5,494名(連結) 1,796名(単独)

## 取締役 (2023年6月23日)

代表取締役社長兼社長執行役員	城 詰 秀 尊
代表取締役兼専務執行役員	富 安 治 彦
取締役兼執行役員	志 賀 洋 二
取締役兼執行役員	安 田 晋
取締役(社外)	永 井 和 之
取締役(社外)	遠 藤 茂
取締役(社外)	堀 口 誠
取締役 常勤監査等委員	田 谷 浩 一
取締役 監査等委員(社外)	奥 山 章 雄
取締役 監査等委員(社外)	平 沢 郁 子

## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 6月  
基準日 定時株主総会・期末配当：3月31日  
中間配当：9月30日  
公告方法 電子公告。但し、やむを得ない事由によって電子公告することができない場合、日本経済新聞に掲載します。  
単元株式数 100株  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

## 株式の状況 (2023年3月31日)

発行可能株式総数 400,000,000株  
発行済株式総数 103,768,142株  
当期末株主数 7,384名(中間期末比242名増)

## 大株主(上位10名)

順位	株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
1	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	12,180	11.83
2	株式会社日本カストディ銀行(信託口)	9,183	8.92
3	朝日生命保険相互会社	4,053	3.94
4	みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者株式会社日本カストディ銀行	3,770	3.66
5	ADEKA取引先持株会	3,156	3.06
6	全国共済農業協同組合連合会	2,334	2.27
7	農林中央金庫	2,244	2.18
8	日本ゼオン株式会社	2,188	2.12
9	THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	2,153	2.09
10	昭和興産株式会社	1,870	1.82

(注)当社は自己株式775,888株を保有しており、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### 株式事務手続きのお問い合わせ先

#### 住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

- 証券会社の口座に記録された株式に関するお問い合わせ先  
株主様の口座のある証券会社等にお申し出ください。
- 特別口座に記録された株式に関するお問い合わせ先  
三井住友信託銀行株式会社(特別口座管理機関)にお申し出ください。

#### 未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

グループ会社 (海外)

欧州  
グループ会社  
4社

アジア・中東  
グループ会社  
18社

日本  
グループ会社  
24社

北米  
グループ会社  
4社

ADEKA単体 (日本)

事業所 6拠点	生産工場 6拠点	研究所 4拠点
------------	-------------	------------

グループ会社 54社  
連結子会社 39社

南米  
グループ会社  
4社

## CMのご案内

### テレビCM「素財姫 (縁起物) 篇」を年末年始に放映しました！

～生田絵梨花さんを起用し、ADEKAをアピール～

CMでは、「地味だけど、すごい。」をキャッチフレーズに、生田絵梨花さんが派手に着飾った素財の化身「素財姫」として登場し、「♪ 地味だと言われたの」から始まるフレーズを健気に歌うことで、存在感をアピールしています。

CMの詳細は、以下の「地味だけど、すごい。素財のADEKA」特設サイトをご参照ください。生田絵梨花さんによるADEKAの「ジミスゴ素財」紹介のほか、CMのメイキング映像も公開中です！

CMはこちらからご覧いただけます

ADEKA CM「素財姫 (縁起物) 篇」15秒  
<https://www.adeka.co.jp/jimisugo/>



#### 表紙デザインコンセプト

ADEKAは「Add Goodness」をコーポレートスローガンに、「素財」(価値ある素材)の提供を通じて豊かなくらしへ貢献しています。

表紙では、私たちの扱う「素財」を、身のまわりの様々なところにプラスすることで、「くらしをより良く」している様子をコーポレートカラーの積み木に見立てて表現しました。